

	観点			
学年	社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	観察・資料活用 of 技能	社会的事象についての知識・理解
3年	・体験活動や見学などを通して、疑問に思ったことやもっと調べてみたいことをもとに学習問題をつくり、学習計画を立て、問題解決的な学習を行う。 ・日常生活を振り返る発問を導入時に取り入れ、学習への興味・関心を高める。 ・ねらいに合った資料(地図、写真など)を提示して学習意欲を高めたり、課題を明確にしたりした。	・地形と土地利用、交通機関と商店や工場の分布との関係等を考えさせ、地図や新聞などに表現させる。 ・グループや全体の前で、自分の考えを発表する場を設定する。パソコンを活用し、まとめや調べ学習に役立てる。	・絵地図や実際の写真を活用して、地図記号を用いた平面の地図を読み取り、活用できるようにする。 ・実際に見たり、インタビューしたりする活動を計画的に取り入れる。 ・資料からわかることを発表したりノートに書いたりする活動を取り入れ、読み取り方のポイントを押さえていく。	・四方位、八方位の意味を理解させる。学区地図や大田区の地図、四方位・八方位を教室に掲示したり、地図記号カードを活用したりして地図に慣れ親しむ学習環境を整える。 ・地図記号を覚え、活用する。 ・新聞づくりや発表等の活動を通して学んだことをまとめ、学習の定着を図る。 ・教室掲示を利用して、知識理解の定着を図る。
4年	・体験活動や見学などを通して、興味・関心をもって調べてみたいことをもとに学習問題をつくり、学習計画を立て、問題解決的な学習を行う。 ・地図の読み取りや日常生活の事象に対して学習する機会を増やし、社会に対する関心を深めていく。また、体験活動や見学などを通して学習の定着を図る。 ・ICT機器を活用し、デジタル教科書を用いたり、資料や映像を提示したりして関心・意欲を高める。	・資料を読み取ったことに自分の考察を加え、自分の言葉で表現できるようにする。 ・自分の考えをグループや全体で発表する機会を設ける。その際には資料を示しながら伝えられるようにする。	・授業の中で図やグラフ、地図など資料の読み取りの機会を増やし、読み取る手順を身に付け、自分でも活用できるようにしていく。 ・地図記号や高低差に気を付けて平面の地図を読み取り、活用できるようにする。	・資料の読み取りや見学等で学んだことが、知識として定着するように、ノートの整理の仕方やワークシートを使ったまとめ方等を定着させる。 ・都道府県の名前と位置を音読や小テストなどを通して定着させる。
5年	・ICT機器を活用し、デジタル教科書を用いたり、資料や映像を提示したりして関心・意欲を高める。 ・課題の調べ学習を取り入れ、児童が主体的に学習できるようにする。	・ペア学習やグループ学習を取り入れ、思いや考えを表現する機会を多くする。 ・社会的な事象や資料からわかることを考察する時間を設ける。 ・分かったことを自分の考えに加えて表現する時間を設ける。	・図やグラフの読み方を他教科と関連させて指導すると共に、何についてのデータなのかを理解させ、変化の様子を意識させて、どのように事象が変わってきたのかを視点にして考える経験を多くさせる。 ・地図帳や資料を授業や日常生活の中で活用し、資料から読み取る活動を多く取り入れる。	・これまでの学習で学んだ都道府県の地理的特徴、世界分布図などを覚え、小テストを繰り返し、定着させる。 ・毎時間、学習した内容のキーワードをもとに、分かったことを自分の言葉でまとめる時間を設定する。
6年	・日々のニュースや社会の出来事を紹介するなどして、日常生活と関連付けて考えられるようにする。 ・ICT機器を活用し、デジタル教科書を用いたり、資料や映像を提示したりして関心・意欲を高める。 ・歴史の学習では、過去のことと捉えずに、どの時代も現代の暮らしと結びつけながら学習していけるよう工夫する。	・歴史的な事象が起きた理由や時代背景を考えさせるなど、自分の考えや思いを表現する活動を多く取り入れる。 ・ペアや小グループでの意見交換、話し合いを通して、自分の考えとの差異を見つけ、様々な視点から物事を考えられるようにする。	・昔の生活の様子や統計資料などから客観的事実を読み取る学習を多く取り入れる。また、読み取る際に、現代との違いなど視点を明確にして、読み取らせる。 ・資料の特徴に合わせた読み取りができるように、統計的資料の読み取り方を指導する。 ・歴史の学習では、どの時代も必ず年表にふれて、その他の資料の読み取りに生かしていく。	・新聞作りをしたり、ICT教材を活用したりして、歴史的な事象や人物についての理解が深まるようにする。 ・学習内容をまとめる際は、キーワードをおさえてまとめさせ、歴史的な事象と結びつけて理解させる。 ・教科書の単元のまとめのページやミニテストなどのプリントを活用しながら、社会的用語を理解していく。